

東芝深谷 OB会会報

[第8号]

OB会事務局
048(574)2014

OB会の近況について

会長 渋谷 昇

新緑のさわやかな季節になりましたが、会員の皆様方にはますますご健勝のことと存じます。

さて、ここでOB会の近況を少しお知らせ致します。

一、昨年発足したインターネット同好会は、会員間でEメールが活発に飛びかっております。

私も、レンタルでパソコンを入手して、少々の手ほどきを受けただけで仲間入りが出来ました。会ではさらに多くの方々に呼びかけています。

二、ボランティア活動では、OB会名入りのチョッキを作り参加者に着用してもらい会の存在をアピールすることになっています。

また、このチョッキは夏まつりの出店などのイベントにも着用する予定です。

三、なお、今年は満十年を迎えるため、総会には新しいアイデアも盛り込んで行きたいと思っていますので、一人でも多くの

方々の参加をお待ちしております。

「時代の変化に

揉まれながら」

安井 俊則

二〇〇一年春季生活改善交渉の真つ最中の三月中旬に、世間話に花を咲かせているうちに「OB会会報」に原稿を寄せてくれないかと依頼された。気持ち良くOKというほど達筆でもないので一瞬躊躇したがそれでも先輩諸兄への懐かしさからか、私もそろそろ近い年齢になったのか知らないが寄稿することにした。

今年も深谷工場の桜の花が例年になくきれいに咲いた。年々花咲く時期が少しずつ早くなっているように感じるが、細かいことは抜きにして組合の前の花が最も早く咲くことと、枝打されたことがあまりない会議室から見える枝ぶりはこの工場の中でも最も美しいと密かに自慢に思っている。

咲く花は毎年同じように咲くが、今工場のほうは大きく変わる

うとしている。これ迄のカラテレビ、ブラウン管の生産から液晶、液晶データーPJ、そしてバッテリーの生産と大きく様変わりしている。昨年回復基調にあると言われた日本経済も、アメリカ経済の下降と共に再び減速し工場もその影響を受けていると思われる。右肩上がりの経済時代は不況になると首をすくめ、ジツと我慢をし、景気が良くなったからそれと頑張れば何とかなる時代であつたが、いまのようなデフレ時代の不況はジツとしていると何時の間にか抹殺されてしまうことになる。

今、グローバル時代を迎えて企業は多く変わろうとしているし、変わらなければ生き残っていけないだろう。全て新しいものが良いとは言わないが、そこに働く人たちの質、量共に変わらなければならぬと考える。これまでではただもくもくと働けばそれで良かったが、これからは「自分の人生は自分で決める」という電機連合が提唱している「自立と責任」が必要となってくる。これまで美德と言われたものがそうではなくな

り、これまで常識なはずが非常識になる時代である。だとすれば各人が主張するべき点は主張し、企業もまたそれに応える能力を持たなければならない。今はその端境期にある。

日本の経済や企業が大きく脱皮するまでまだまだ幾多の困難があると思うが、その成功の可否が深谷の発展の鍵を握っていると確信している。

終わりにOB会各位のご健勝を祈念し、今後もご指導をお願いして便りとさせていただきます。

趣味は何かなあ

野口 宣邑

例えば、若い頃は卓球、登山に明け暮れ、その後、ボーリング、釣、三交替の勤務の時は夜勤明け早朝ボーリングそして釣場への毎日、昼勤も帰りに、晩勤も出勤前にと過ごして来た。

四十才代になって、地域の人とソフトボールのチームを作り監督兼選手として毎週日曜日（日立のグラウンドを年間予約）楽しんだ。

しかし、全員の高齢化に伴い現在在は親睦会に移行している、

趣味は何かなあ。

唯一つ以前から変わりなく続いているのは、ドライブ、旅行、写真で旅行は専ら車を使い青森から神戸の間は何度も行き来している。

旅行は、思いついた時が旅だちで殆ど旅館の予約なしで行く。

連休時、休日前日等その時行きなくなったら飛び出す。

計画もなく北へ或いは南へと車を走らせながら行き先を決める事もある。泊まる所は行けば何とかなると思いのままに走らせるのが好き。写真は以前から好きで、一度だけコンテストに応募したことがある。一等を貰ったが後にも先にも応募はこれ一度だけ。

以前は、休日にはカメラを持って町中や公園で写すのも好きだったが最近では、犯罪者と間違えられそうでやりにくく遠慮している。

今は、専ら風景専門で写したものを一人で眺め悦に入っている。

その中から気に入ったのを選んで引き出し額に入れて壁にぶら下げて楽しんでいる。

今は、去年の秋に京都に行った時写した写真を十枚程掛けている。これからも写真は続けてゆくと思っがこれが趣味かなあ...

私の趣味

国井 豊吉

私の趣味は、紹介する程のものではないが古い順から列記すると、写真、ハイキング、切手、古銭、菊作り、バードウォッチング、グランドゴルフです。先ず写真は？十年になります。定年後に再挑戦し、現在は主に風景写真を主体に、月々の出来ばえに没頭しています。

ハイキングは堀川町工場で職場の同僚と月二回程、ハイキングに参加していたのがきっかけで、OB会を含め写真撮影等で山野に出掛けます。菊作りはKさんの手解きで、約十五年位になり秋には、大きな成果が得られるよう、苗からの手入れが大切です。

バードウォッチングは、十年前位に友人から誘われたのをきっかけに、現在でも三人で月三回程山野や湖沼に出掛けます。グランドゴルフ

はボールコントロールに、苦戦しながら週二回の練習に参加し、地域の人々と交流を重ねている今日です。最近では、野外で過す時間が多く、体の調子も順調で、「医者いらず」です。

ドウ・イット・ユアセルフ

Do it yourself

島津 貞夫

やりたいことがいっぱい暮らしの中に隠れていることをこんな感じに、こんな風に...そんな想いをカタチにしていくのは楽しい。

木の温もりと手作りの愉しさが嵩じて車庫を利用して、工房「ちどり」を作り、木と遊ぶのに刃物の鋭い切れ味を求めて、ダイヤやこつば砥石まで集め専用研ぎ場をしつらえ、興にのれば研ぎを愉しんでいる。

リタイア後の木工三昧に備え小遣いを道具に費やし、腕はその精密な電動工具に支えられている。

また作品にはロゴマークの焼き印を押して自分のブランドに仕上げ悦に入っている。

庭先に男の隠れ家のプレハブ六畳を基礎から建てた。この離れは私にとって子供のときに戻り、より深い人生の喜びを味わせてくれる城になった。また毎日のトイレを快適に過したい一念で、床や壁のタイルを壊し、給排水管を移し、和式水洗をウォシュレットに改装して、我が家の自慢の空間となっている。

自分の腕で夢がカタチになって飲む晩酌は旨い。

趣味と健康

佐々木 敏光

趣味と呼べる程のものではないが、唯一長く続いているのがゴルフである。たまにゴルフ雑誌を読み、メンバーに喜んでもらえるような場所や値段、そしてプレーしたことのないコース等を丹念にチェックするのも楽しみの一つになっている。

また少々遠方でも、誘われればどこへでも出掛けていくことにしている。従って、車の運転も好きなもののひとつで、出かける前にしっかりと、通過ポイントを頭の

中に入れて、記憶だけを頼りにコースまで行くので、これもまた私の頭のトレーニングとなっており、併せて運転時の体調によって、健康状態をチェック。気力が失せたら要注意。ゴルフと運動は、健康上のバロメータ。

近頃体が重く感じられ、このためにコースでは、左に右にと打ち分けて、人一倍歩き回るよう努力中。それにしても、ゴルフを始めて久しいが、一向に上達しないのは何故？

ゴルフも運転も、もう少し上手くなってもいいと思うのだが…。

秋のハイキングに参加して

小川 夏男

OBの秋のハイキングに参加して、いつも思う事は、皆様の元気の良い事です、自分も体力はあると思っていました、皆様には負けそうでした。

十一月十六日自家用車四台（一七名）で、群馬県の吾妻川の近くの岩山の岩櫃（いわびつ）山へ、標高は低いが（七九五米）ちよっぴり岩山のスリルが楽しめて、本

当に良い山だなーと思いました。今年の紅葉は遅く、もみじはまだ赤く美しかった。

下山後、いつも楽しみにしている温泉に入る。これが山登り後の最高の楽しみで、二時間位話が弾みビールをいただいで楽しみました。これからも体力がつづく迄、参加して楽しみたいと思います。

リーダーの方には、大変でしょうが宜しくお願いします。本当に楽しかったです。



岩櫃山・山頂にて

私のゴルフ暦

小林 哲嗣

私がゴルフを始めたのは三十年前の事です。

なんでこんなに長く続くのか私にもわかりません、ほんとうに不思議な気がします。

ある人の話し「人間は穴から生まれ、穴で苦労して、最後は穴でおさまる」。ゴルフは最終ホールアウトするまでに色々のドラマがある、そのドラマの難関をいかに突破するか自分自身の精神が持続出来るか、そんなスポーツだと思っている。スコアーが悪い時にはもうゴルフは止めると思う気持ちと今度こそと云う気持ちの葛藤がなんともいえない。

そこでまた金もないのに新しいクラブを買つ、そして目標に向かって挑戦が始まる。

私は八十台を年間アベレージの目標にしている。そこに向って自分の信頼出来るプロの本を読んで、それをまねして練習場で今度こそ今度こそとやっているが、そんなに簡単には行かないのがゴルフである。

そこが面白いのだ。

私はこれからも安いゴルフ場を見つけては体の健康に合せて続けて行きたい。

家庭菜園アレコレ

小澤 正行

私の趣味の中で一番多く時間を費やしているのが野菜作りである。

現在の菜園は約四〇〇㎡ある。

約一〇〇㎡に、家内が使ういけばなの材料に花や木を植え、残りの三〇〇㎡を菜園として使っている。

畑が広くなったからと、二人の子供達が還暦祝いに贈ってくれた小型耕運機と、他の道具類の収納と運搬を兼ねた軽ワゴン車も購入して、無農薬の有機栽培に取り組んでいる。

まずは土壌作りから、落ち葉や麦藁、稲藁など手軽に入手できる物を活用して、これに米ぬか、油粕、石灰窒素などを混ぜて堆肥を作り貝殻を材料にした石灰と合わせ、畑へすき込む、化成肥料は、ほとんど使用しない。

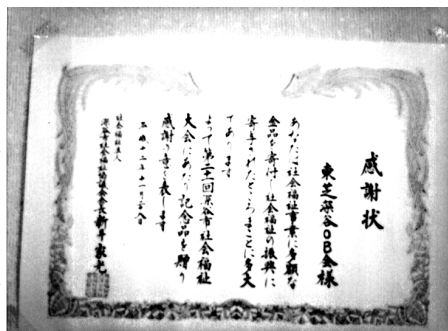
そのため病害は皆無に等しいが、アブラムシ・アオムシ・ヨトウムシなどの虫類の他、カラス・ヒヨドリなどの鳥類の害には手を焼いている。

防虫のため、寒冷紗をかけたり防鳥ネットを張ったりしているが効果は少ない。

近所へもおすそ分けしているが、我家では野菜をほとんど買わないで済んでいる。

感謝状の受賞について

会長



第二十一回深谷市福祉大会に於いて、地域福祉の振興に特に功績のあった団体として、十二年十一月二十八日社会福祉協議会より感謝状をいただきました。

これは毎年夏祭りに皆様方よりお預かりした品物をガラクタ市で売り出し、その売上金の一部を市の福祉協議会へ寄附した功績がみとめられたものです。御協力をいただいた会員各位に感謝致すと共に、今後もこのガラクタ市を開きこの運動を継続して行きたいと思っています。

今後共会員各位の暖かい御支援御協力をお願い致します。

清掃ボランティアに参加

小澤 正行



桜の花見シーズンに入る三月二十五日、深谷GCC加盟の各種ボランティア団体が参加して唐沢堤周辺の清掃を行いました。

当会も、新調の東芝深谷OB会ネーム入りのチョッキを着用し十一名(写真)が参加しました。

会の存在をアピール出来たと思います。最近では、市民の環境に対する関心も高くなってきたのか紙くずや空き缶などは、前より大分少なくなったように思いました。

編集委員

幹事

小林 哲嗣

〃

小澤 正行

- 久住一重さんが十二年十月
 - 館澤貞雄さんが十二年十一月
 - 桜井好三郎さんが十三年三月
 - 坂本鉄男さんが十三年四月
- ご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。